

第124回 番組審議会 議事録

開催日時：2024年7月11日（木）

1) 出席委員（総数5名：出席数5名）

2) 今岡あい／本田敬士／大畠卓也／伊藤健飛／近藤慎一

2) 審議番組の内容

番組タイトル 大前町田のキンヨルラジオ

パーソナリティ :大前町田

リポーター :ビッシャビッシャカラス

放送日時 2024年4月19日(月) 20時30分～22時

番組概要

東海地方を中心に人気を集めるお笑い芸人「大前りょうすけ」と「町田コースケ」のコンビ『大前町田』の唯一の冠ラジオ番組！若手お笑い芸人・ビッシャビッシャカラスをリポーターとして豊田・みよしに派遣し、現場をリポートさせる企画を軸に、毎回どうなるかわからないライブ感を聴き手と共にする1時間30分！

3) 審議の内容

【今岡委員】

2人の雑談から始まるオープニングが斬新で面白かった。

息のあった即興トークに吸い込まれて、テレビ番組を見ているようだった。

聴き手からの自己紹介を考えるコーナーもがギャグも声量、テンポを変えて紹介していくさすがだと感じた。コーナーのリポートも豊田市駅でやってくれて、市民として親近感が湧く。放送中に携帯のバイブルーションが聞こえてきて気になるトークの中で出てきたジングル、ランスルーなどの業界用語がわからなく、業界に詳しくわからない人が聞くと置いていかれる。

【本田委員】

2人について、お笑いの人よりラジオスターと感じた。雑談から始まる導入が良かった。ジングルの間などでチャンネルが変えられる可能性があるから、トークから始まるとリスナーをそのまま引き留められていいと感じた。メッセージをSNSでの参加型にすることで、ラジオでの投稿は敷居が高く感じるが、それを下げていて良かった。豊田市駅でのコーナーは、地元ならではの流れが良かった。4人の息がぴったりで良かった。

携帯のバイブルーションの音、小さいが雑音が気になる人がいるかも。

【大畠委員】

トーク力が抜群で、番組自体がすごく洗練されている。

大前さんのトークを広げたりと、町田さんの構成力がすごい。

コーナーは、面白い企画。他の番組にはない面白い企画。ライブ感がありハラハラして良い。うまくリスナーを捌いていて、自分が参加しているようになった。4週目ともシナジーがあり、次週も聴いてみようと思える。加納さんの両親のくだりで、容姿のいじりは無くても良かった。センシティブな話題になる。

番組としては面白くて、あっという間だった

【伊藤委員】

すごく楽しくていいラジオ。夜のFMラジオ感がすごくいい。リスナーとのやりとり、適度な下ネタ、夜のFMラジオらしくて良かった。リスナーとの応酬のやりとり、コーナーも誰が来るのかハラハラして楽しみ。トラブルを含めて関わったリスナーのSNSも見て、番組の宣伝をしていて、熱心なファンがついていて愛されていると感じた。

電車に乗りながら帰っている時間帯で、アクの強いのが聞きたいときにいい。

月に一回で、1年通しても12回しか聞けないのが残念。番組の回数がもっと増えるといい。

【近藤委員】

入りの小話が面白かった。今までの番組にないものでトーク感、空気感で2人で好き勝手に話している感じがいい。リポートのぐだぐだ感も良かった。地元感が出ていて、リポートの市駅前のマックの流れも地元に住んでいる人からすると想像しやすくて良かった。

臨場感が出て地元局ならではの強み方と思った。リスナーとの絡みも良かった。ローカル感がいい。ラジオの良さ。片耳で聴いていて、他ごともやっていて、昔の学生時代の懐かしさを感じた。